土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　福川河川改修事業に伴う検討業務委託（2工区）

事業または工事名

調査目的及び調査対象　河川 その他

ボーリング名	No.8	調査位置	広島県福山市神島町			北緯	34° 29′ 01.2100″
発注機関	広島県　東部建設事務所	調査期間	2021年06月08日～2021年06月10日			東経	133° 20′ 27.0000″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 7.43m	角度	180° 上 90° 0° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-C
総削孔長	14.00m								エンジン	ヤンマーTF120M	ポンプ	東邦　BG-3CR

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	6.08	1.35		盛土（シルト混じり砂）		暗褐			細砂主体。GL-0.3～0.4m間、細粒分卓越する。 GL-1.40m付近、瀝青混入物含む。	
2	5.03	2.40		盛土（礫混じりシルト質砂）		暗褐			含水低、粘性中位のシルト主体細砂を混入する。 GL-2.50～2.70m間、φ10～20mmの角礫を混入する。 GL-1.80～1.90m間、GL-2.20～2.40m間、暗灰色を呈する。	
3	4.43	3.00		盛土（シルト質砂）		暗緑灰			細～微細砂主体。指圧にて粉砕可能（GL-2.40～2.80m間）	
4				盛土（シルト混じり砂）		暗黄褐			粗～中砂主体。 GL-3.60m付近、暗緑色を呈する改良土、 GL-3.00～3.20m間、GL-4.00～4.25m間、細粒分卓越する。 GL-4.30～4.60m間、改良体。白色を呈し、4.40m付近は幅3cmで最大。	
5	1.83	5.60								6/10 5.29
6	1.33	6.10		砂混りシルト		暗灰			含水低、粘性大のシルト主体細砂を混入する。	
7	-0.07	7.50		シルト混り砂		暗灰			細～中砂主体。全体に改良されており硬い。 GL-6.40m付近は白色、暗緑色を呈す。	
8	-0.57	8.00		シルト質砂		暗灰			細砂主体。 GL-7.50～7.70m間は黒色の粘土。	
	-1.07	8.50		砂混り粘土		黒灰			含水低、粘性中位の粘土主体。部分的に改良材が認められる。	
9				礫混り砂		黄褐～暗褐灰			粗～中砂主体。 GL-9.90m付近、暗緑灰を呈す。 GL-10.30～10.70m間、暗緑灰色を呈す。全体に改良されており、硬い。 GL-11.00～11.40m間、暗緑灰色を呈す。	
10										
11										
12	-4.57	12.00								
	-4.97	12.40		砂礫		暗灰			φ2～20mmの亜円～亜角礫主体。基質は中～粗砂主体。 GL-12.15m以深は、薬材と思われる。	
13				風化花崗岩		青灰～淡褐			指圧にて土砂化する。 GL-13.15m、13.40m付近、改良材である。	
14	-6.57	14.00								
15										
16										
17										
18										
19										

標準貫入試験									試料採取			室内試験	原位置試験	削孔日
深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度(m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度(m)	試料番号	採取方法		現場透水試験	
														6/9
														6/9
													10.50 k=3.44E-5m/s 11.00	
													12.00 k=4.64E-5m/s 12.50	6/10